

㊦ (小計 58点)

問一 (12点) 人気者の足立くんたちをうらやましいと思う気持ち。

問二 (12点) 飯島さんは三月に転校することが決まっております、最後の行事である百人一首大会で優勝して思い出を残したいと思っております。

問三 (16点) 主力の清野が指をけがして本来の力が出せなくなり、飯島が担当以外の札を取って清野の分をカバーしているのを見て、優勝のために自分もがんばろうと思ったから。

問四 (18点) 定期テストの結果は一人ずつかみ取った喜びだったが、今回は勇気を出して特訓に付き合ひ、飯島さんに優勝をおくることができたうえに、仲間と優勝の喜びを分かち合うことができたから。

㊧ (小計 32点)

問一 (12点) 人は誰かの役に立っているという実感を得ることで生きることができるということ。

問二 (20点) 鹿野さんが施設や親元を離れて自立して生活する中で、ボランティアや介助者に支えられるだけでなく、彼らの進路決定に関係し、福祉に無縁だった若者達に介助のしかたや障害者の現状を伝えたということ。

㊨ (小計 10点)

(2点×5) (1) 名案

(3) 養蚕

(5) 温故知新

(2) 密閉

(4) 砂糖

【出典】

㊦ 如月かずさ『給食アンサンブル』

㊧ 渡辺一史『なぜ人と人は支え合うのか 「障害」から考える』

